

Voice



活躍の可能性を感じ 国際協力の世界へ

大学では土木工学分野全般について学びました。大学院では、雨の降り方や天気の様子、水の循環などを対象とする水文気象学に関する研究をし、その経験は入社後に携わったプロジェクトでも活かしていると思います。

実は、国際協力という分野の存在を知ったのは就職活動中でした。それから国際協力機構（JICA）の説明会に参加したり、今の上司にも話を聞かせてもらったりして、「自分のこれまでの経験を活かしながら活躍できそうだな」と感じたことが入社へのきっかけになりました。相手の熱量や業界・会社の雰囲気を知るためにも、さまざまな分野の人に話を聞くことは大切だと思います。

入社後、1年目の右も左もわからない段階から現場に飛び込ませてもらったことも、いい勉強になりました。

藤本 雅人さん
プランニング事業部
水資源・防災部

オリエンタル
コンサルタンツ
グローバルに転属

オリエンタル
コンサルタンツに入社

愛媛大学大学院
理工学研究科修了

愛媛大学工学部
環境建設工学科卒業

Work

ミャンマー気象局と 警報システムを構築

入社2年目から4年ほど、「ミャンマー国自然災害早期警報システム構築プロジェクト」に携わりました。自然災害発生時に地域住民へ適切な情報を迅速に伝達するためのマニュアル作成、機材の導入、訓練の実施などを通じて技術移転を行いました。整備されていない道を車で片道6時間かけてパイロット地域に通ったのも今はいい思い出です。

日本のアメダスなどと違って、ミャンマーには避難勧告などの基準となる気象水文観測の基礎データが十分にありませんでした。ミャンマーの気象局の方々と一緒に、どのような情報を発信していくのか悩みながら協議を続け、新たに水文観測機材を導入したり、気象予測データを用いた地域ごとの危険度表示を検討したりして警報情報の向上を図りました。

新型コロナウイルスの影響で日本に滞在する時間が増えましたが、技術士の資格の勉強に充てるなど、今後の業務に活かしていきたいです。



気象局職員らとの会議の様子
(藤本さんは右列手前)



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル

設立：2014年(創立:1957年)
資本金：4億9,000万円
従業員：504人(2020年2月1日現在)
本社：東京都新宿区
海外拠点：パナマ、フィリピン、インドネシア、タイ、ミャンマー、インド、カタール、ウガンダ他
事業分野：鉄道、道路、港湾、空港、建設、エネルギー、農業・水資源、環境・気候変動、建築、地域・都市計画、防災、平和構築などの分野における企画、調査、設計、施工監理、維持管理、技術指導
募集職種：技術職全般、営業職
募集人数：中途採用は随時募集、新卒採用は15人程度
住所：〒163-1409 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー9階
TEL：03-6311-7570(代)
MAIL：ocg-saiyo@ocglobal.jp
HP：https://www.ocglobal.jp



幅広い分野を横断する大規模なプロジェクトに携われるのが魅力

ニーズの変化に適応し
最高レベルの仕事を提供

主体性と行動力にだけ
諦めない人材を歓迎

総合開発コンサルタンのフロントランナーとして政府開発援助（ODA）や国際機関などの案件を実施するオリエンタルコンサルタンツグローバル。
鉄道や橋梁といったインフラ整備などハード分野の調査、設計、施工監理に加え、防災や平和構築、環境対策などのソフト分野でも数多くの実績があり、これまでに150以上の国・地域で業務を行ってきた。
「目指すのは世界的な企業ブランド。海外拠点や現地法人の強化を進め、従来のODAのみならず、あらゆる顧客にサービスを提供したい」と語るのは代表取締役社長の米澤栄二氏。その言葉通り、8社ある現地法人それぞれに異なる役割を持たせて現地法人のパワーアップを図り、グローバル全体の国際競争力向上につなげている。

自由や自律を重んじる同社が求める人材は、「主体的にものを考え、行動力に秀でた人」「コミュニケーションを取り、協働して仕事ができる人」「型にはまらない自由な発想と、最後まで諦めない粘り強さを持つ人」。
社員の人材育成や福利厚生にも力を入れている。
例えば、社員の資格取得や学会への参加、進学などに補助金を支給する制度や無利子の奨学金制度がある。新入社員には1カ月の集合研修に加え、OJT担当とメンターが付き、業務やキャリア形成などの相談に乗っている。
また、海外出張先への家族帯同・呼び寄せという、海外業務の多い同社ならではの制度もある。
在宅勤務やフレックスタイムなども用意されており、長く働き続けられる制度が充実している。